

# くしろ自然再生解説員 解説メニュー

- ・展望台から見える景色
- ・釧路湿原の特徴
- ・釧路湿原の自然再生



# 展望台から見える夏の湿原



# 展望台から見える冬の湿原



# 原始の姿をとどめる川

～シラルトロエトロ川から見たシラルトロ湖～





阿寒富士

雌阿寒岳

雄阿寒岳

宮島岬

キラコタン岬

阿寒富士

雌阿寒岳

雄阿寒岳

細岡展望台から宮島岬まで  
直線距離で約6km

細岡展望台からキラコタン岬まで  
直線距離で約5km

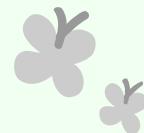
細岡展望台から釧路川まで  
直線距離で約600m

釧網線

釧路湿原に沈む夕日  
Sunset on a Kushiro wetland



# 細岡ビジャーズラウンジ



館内には湿原風景や花々の写真が飾られ、お土産を買うこともできますので、是非、お立ち寄り下さい！

入館料 無料  
車いす対応トイレ 有り



# くしろ湿原／ロッコ号



運転区間：釧網本線 釧路～塘路間

運行期間：6月～10月頃

\* 運転区間、運行期間は変更する場合もあります

# SL冬の湿原号



運転区間：釧網本線 釧路～標茶  
運行期間：1月～2月頃

\*運転区間、運行期間は変更する場合もあります

# 釧路湿原の特徴



# 北海道のラムサール条約登録湿地



## 北海道のラムサール条約登録湿地：13カ所

# 渡り鳥にとって、とても大切な場所



オオハクチョウ

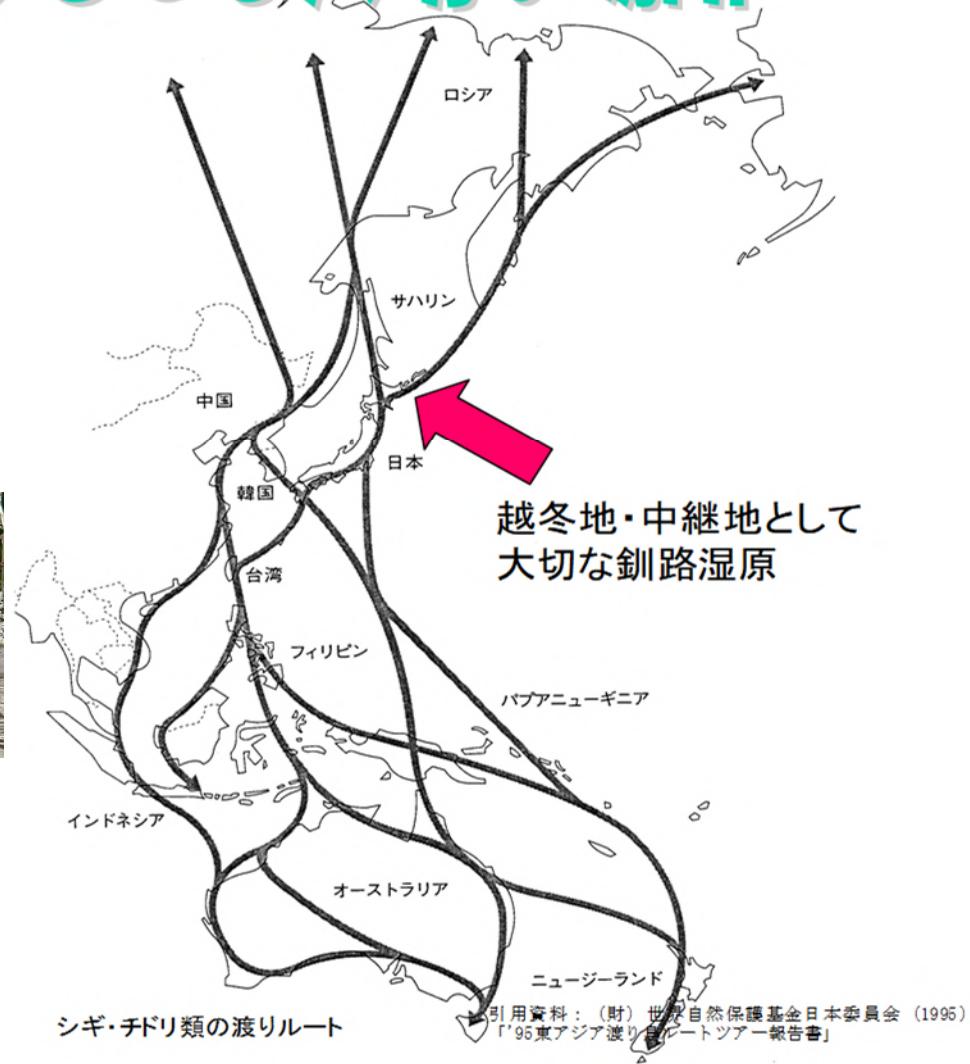
世界中を移動する  
渡り鳥



マガモ



オオジシギ(オーストラリアから)





•右手には、釧路川の源流、屈斜路湖があります。  
•左手に見えるのは、釧路の市街地です。

# 釧路湿原国立公園

Kushiro marshland national park

钏路湿原野国立公園

쿠시로 다습 초원 국립공원

1987年(昭和62年)に  
国内28番目に国立公園に指定  
された日本最大の湿原です。



# 「湿原」だけで指定された唯一の国立公園

- ・国内には34の国立公園
- ・「湿原」が特徴なのは4公園
- ・「湿原」だけで指定されたのは釧路湿原のみ

(2018年3月31日現在)

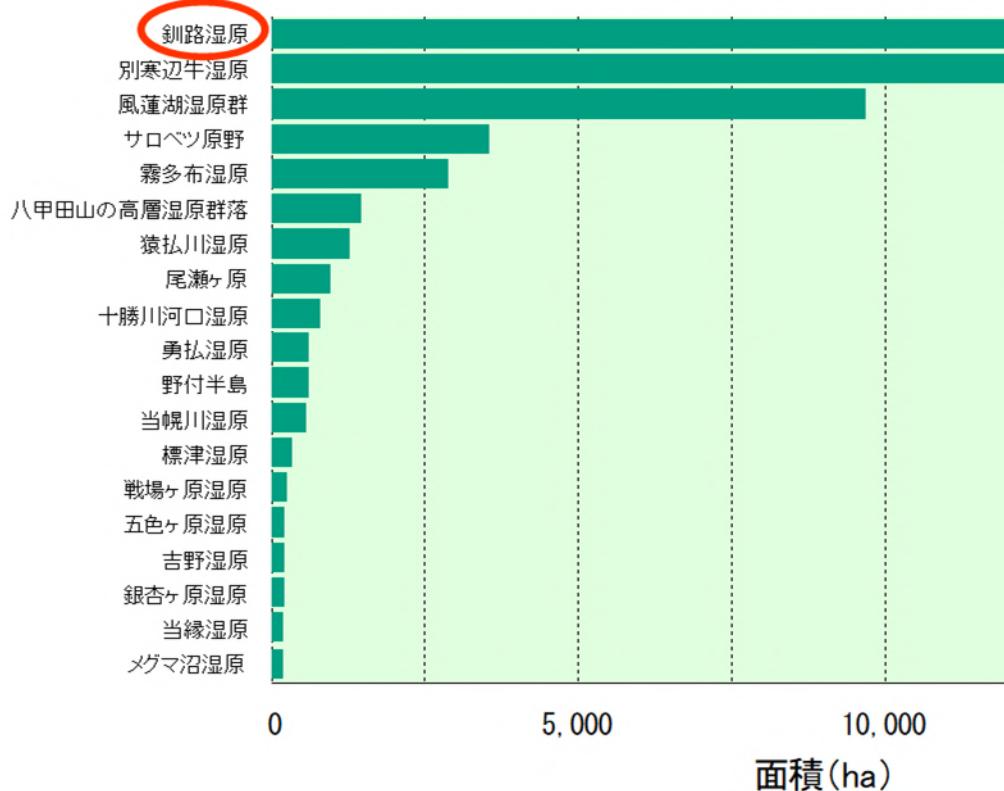
## 「湿原」が特徴な国立公園

国立公園名	景観の特徴			
	火山	湿原	湖沼	海岸
利尻礼文サロベツ				
釧路湿原				
日光				
尾瀬				



# 日本でいちばん大きな湿原

日本における代表的な湿原の面積



- ・北海道には大きな湿原が多い(1~5位)
- ・釧路湿原は日本最大
- ・車で一周3時間以上。

参考資料：第5回自然環境保全基礎調査（湿地調査）  
北海道旅客鉄道株釧路支社ホームページ

# 釧路湿原のデータ



○日本で最も広い湿原  
釧路市、釧路町、標茶町  
鶴居村 1市2町1村に跨がる

○釧路湿原面積  
約25, 800ha

☆山手線の線路に囲まれた  
面積の4個分に相当  
山手線内側面積 約6, 300ha

○東西最大幅 25km  
南北 36km

(出典: 新版釧路湿原: 釧路新書2008年)

# 釧路湿原のデータ



○日本で最も広い湿原  
釧路市、釧路町、標茶町  
鶴居村 1市2町1村に跨がる

○釧路湿原面積  
約25,800ha

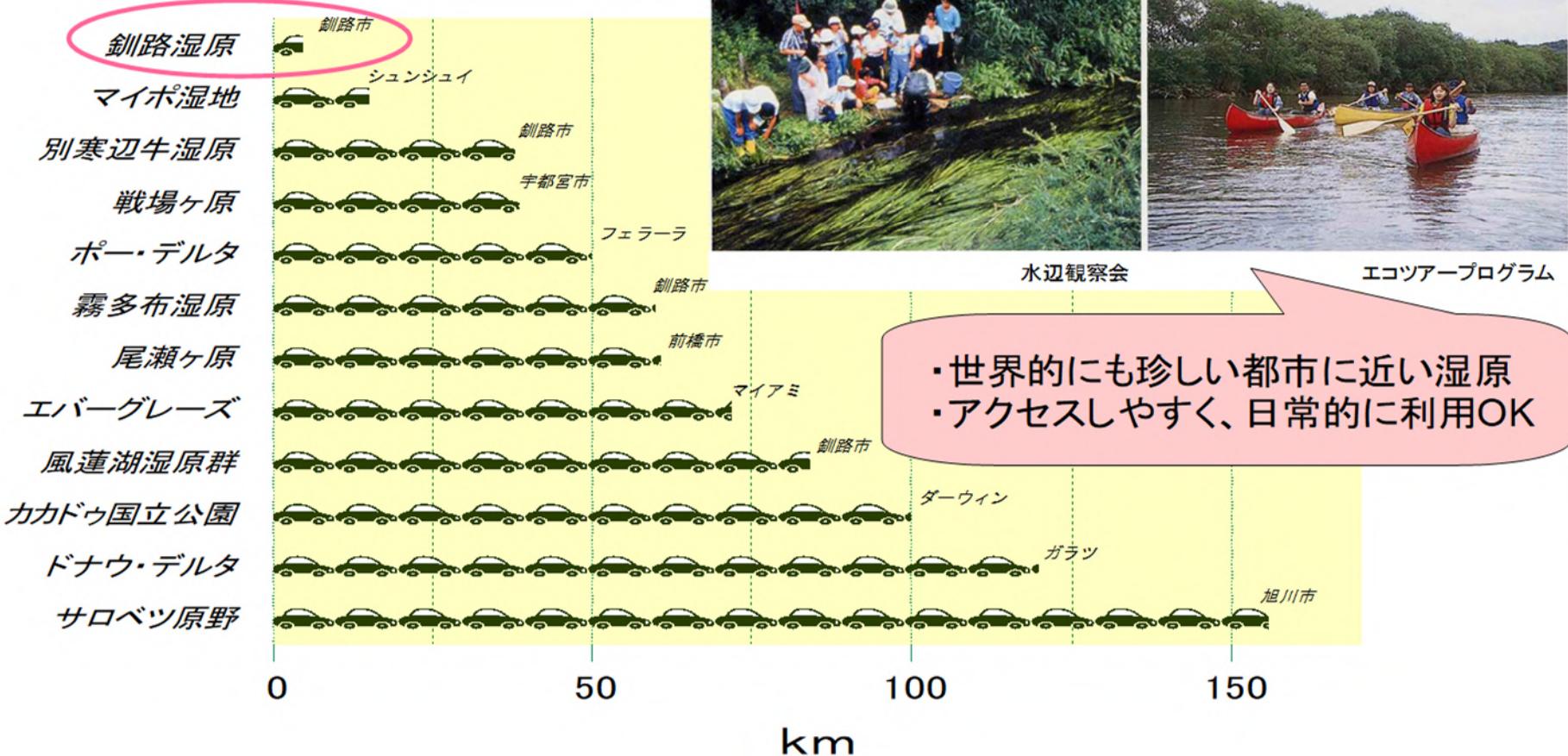
☆大阪市とほぼ同じ面積  
(約22,300ha)

○東西最大幅 25km  
南北 36km

(出典: 新版釧路湿原:釧路新書2008年)

# 世界でも珍しい 都市に近い湿原

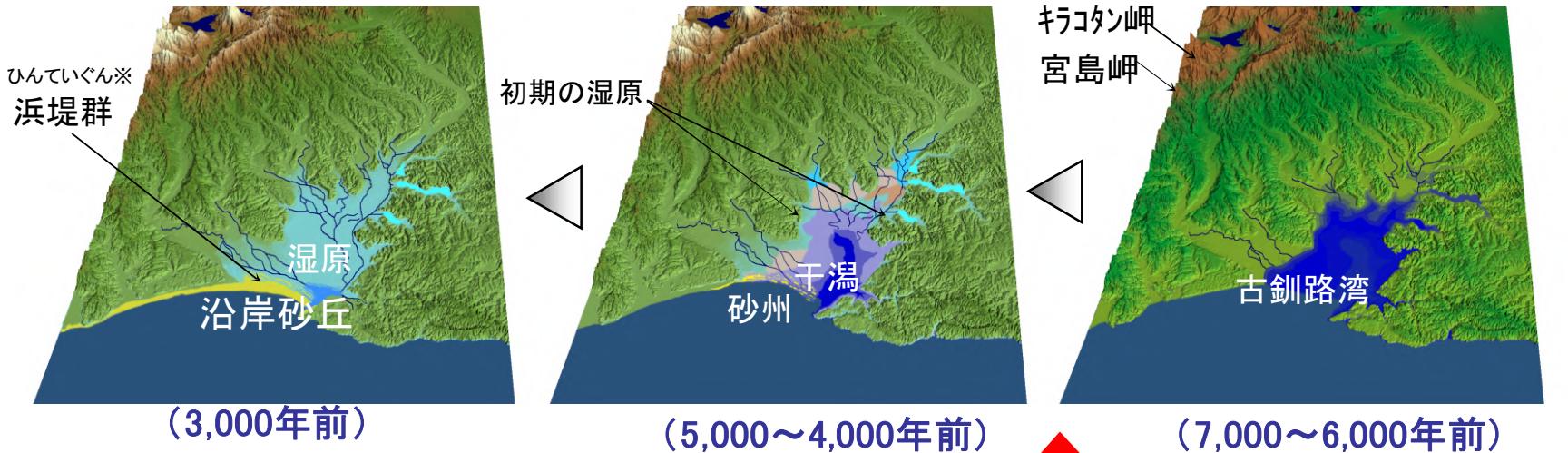
図 湿地と都市との距離



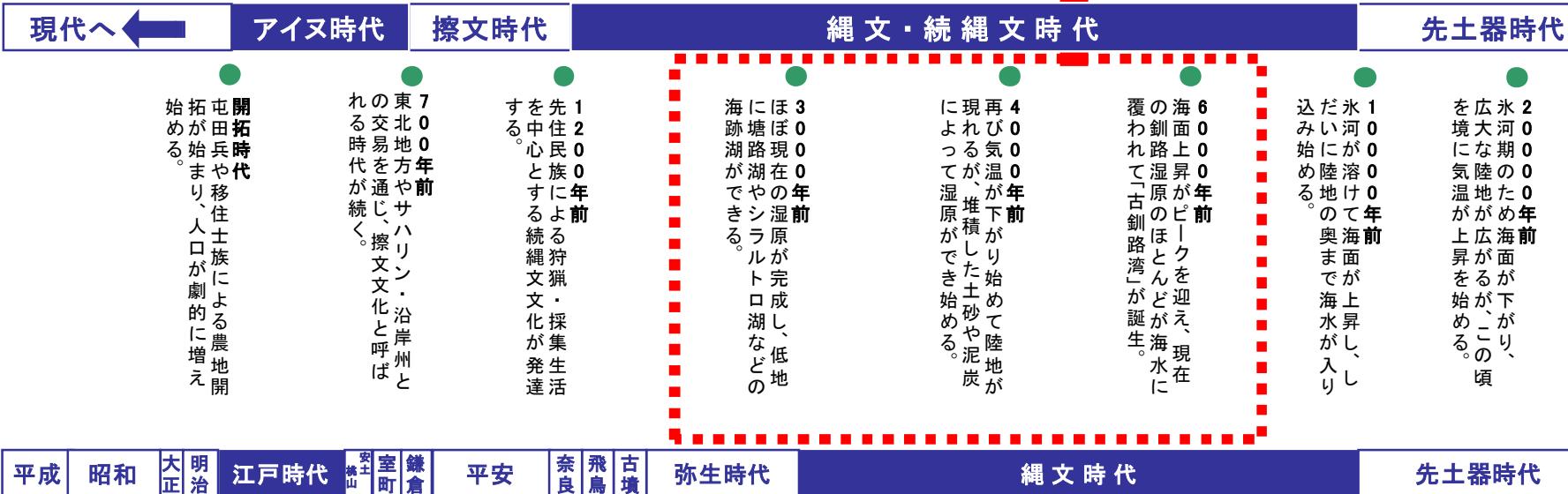
# 釧路湿原の成り立ち

## 形成の歴史

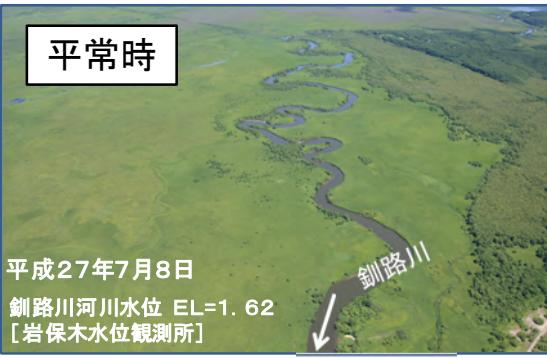
北海道史年表 釧路湿原の歩み 日本史年表



※ 浜堤：砂浜の海岸線に沿って形成される砂の高まり

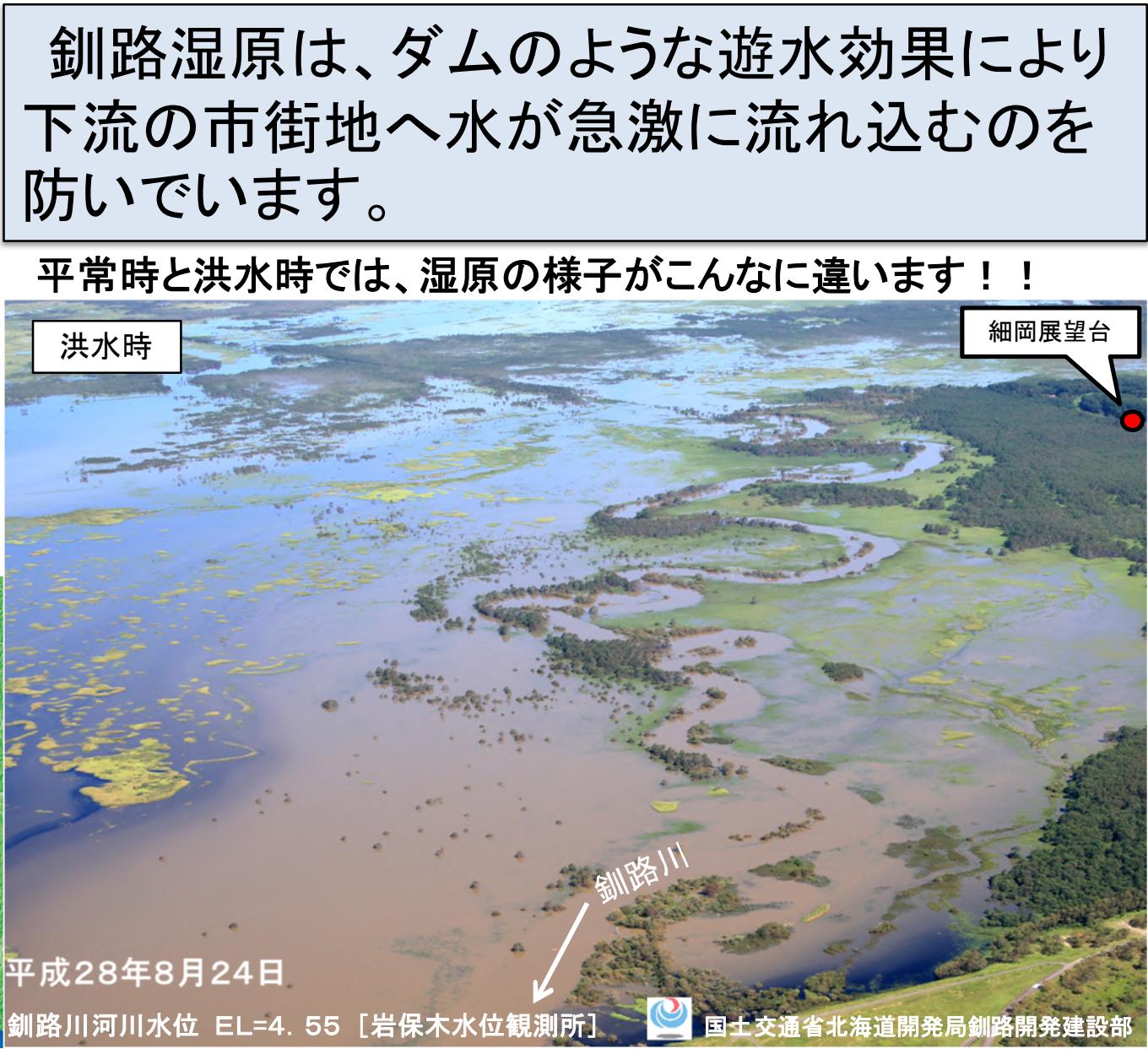
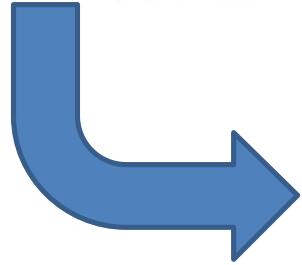


# 平成28年8月の大雨による釧路湿原の様子



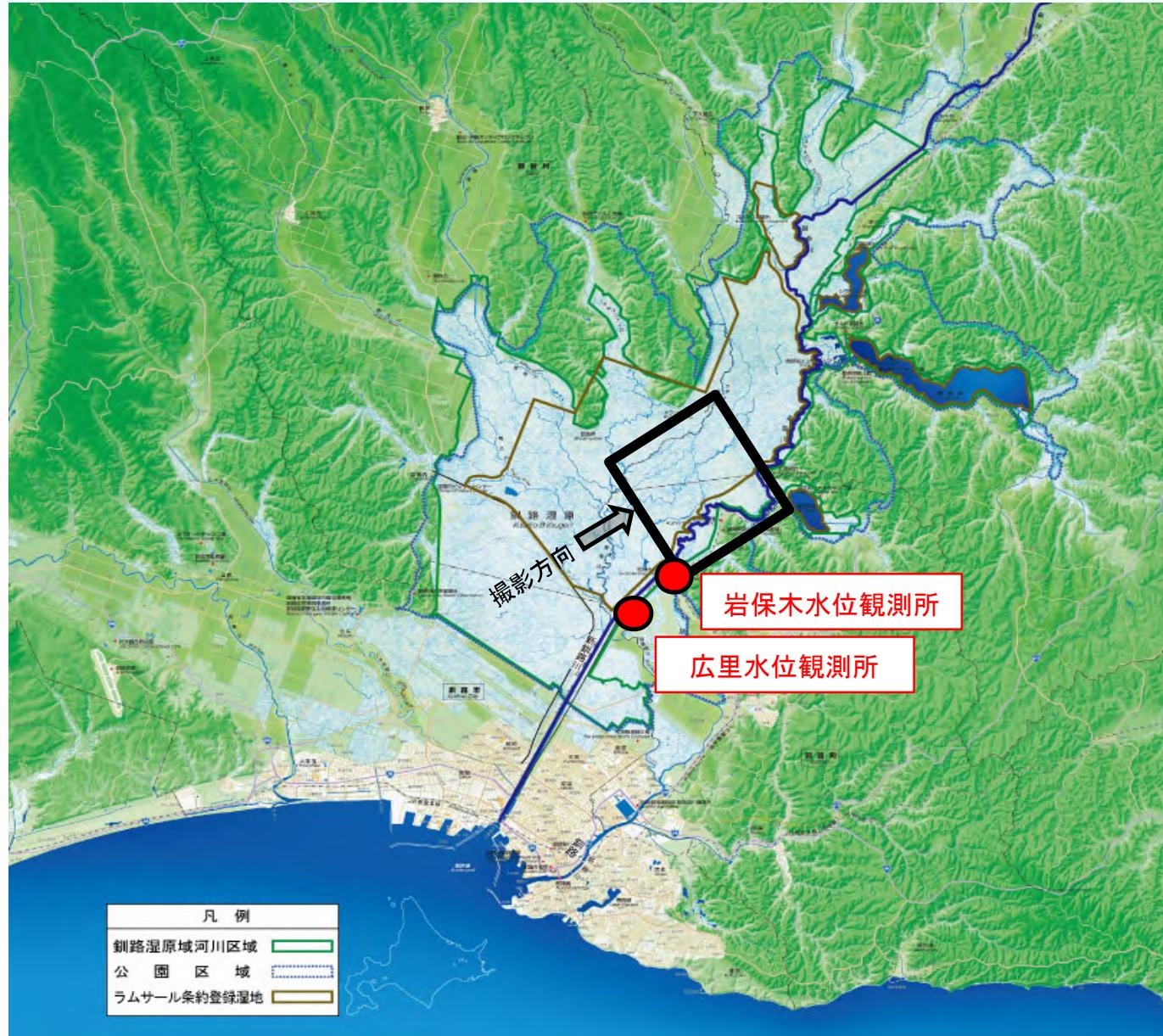
釧路湿原は、ダムのような遊水効果により下流の市街地へ水が急激に流れ込むのを防いでいます。

平常時と洪水時では、湿原の様子がこんなに違います！！



国土交通省北海道開発局釧路開発建設部

# 平成28年8月出水について 釧路湿原の様子



# 平成28年8月出水について 釧路湿原の様子

平常時

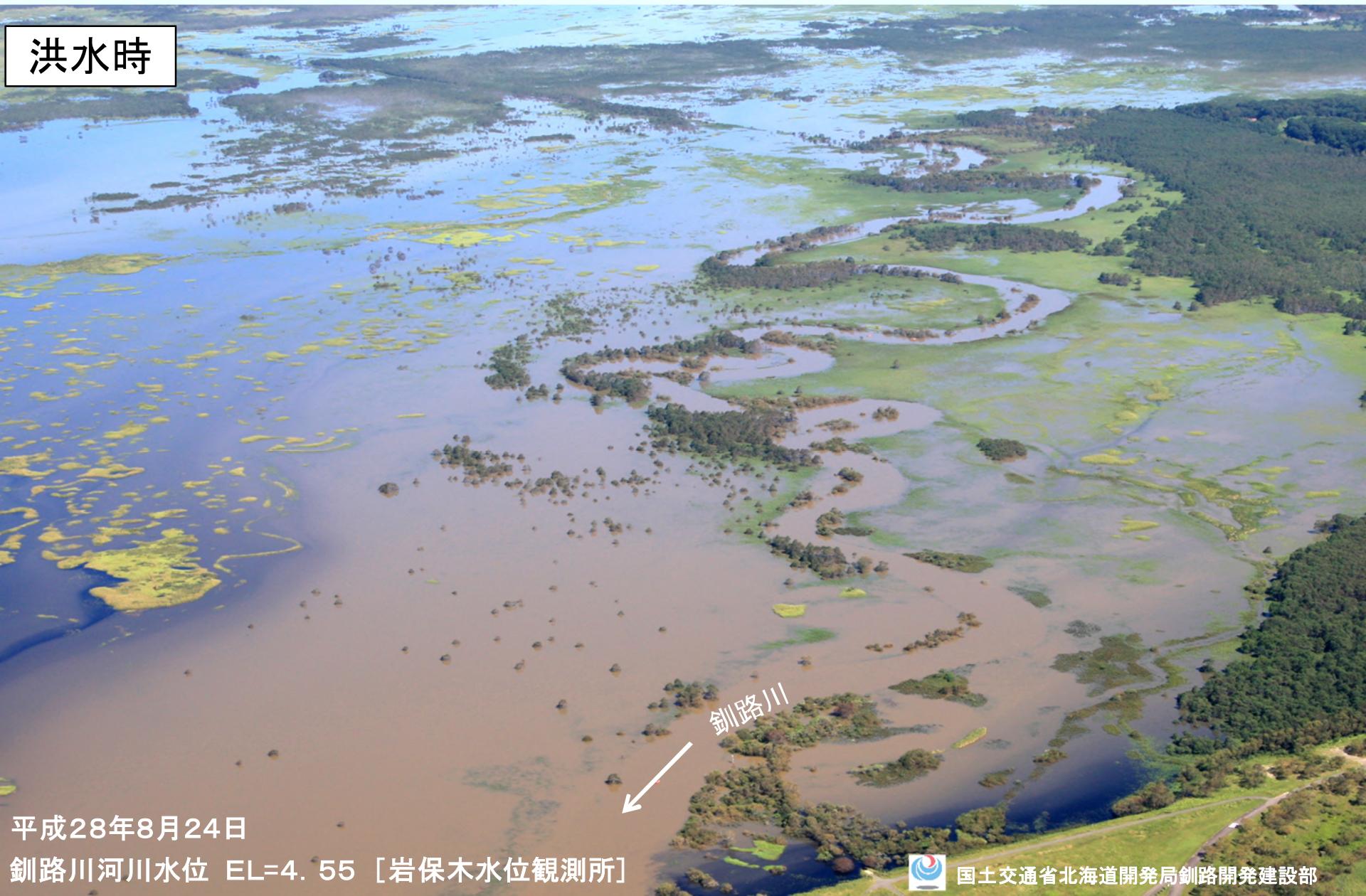


国土交通省北海道開発局釧路開発建設部

# 平成28年8月出水について 釧路湿原の様子

※本資料の数値は速報値であるため、今後の調査で変更となる場合があります。

洪水時



平成28年8月24日

釧路川河川水位 EL=4.55 [岩保木水位観測所]



国土交通省北海道開発局釧路開発建設部

# 钏路湿原の自然再生



# 1972年以降、湿原の開発が加速

- ・湿原は、役に立たない不毛の土地
- ・土地利用をはばむ厄介者
- ・昭和40年代 列島改造論で湿原の開発が進む



改修により直線化された河川



周辺丘陵地の土砂取場

# 湿原の面積が激減

The area of the damp plain decreases sharply  
湿原野的面積锐減  
다습 초원의 면적이 격감

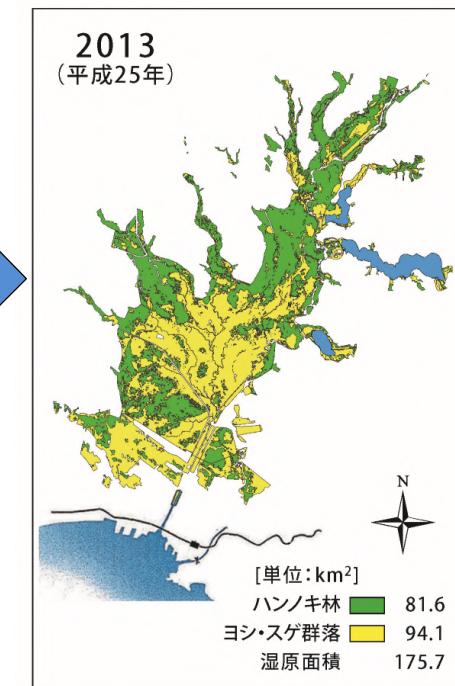
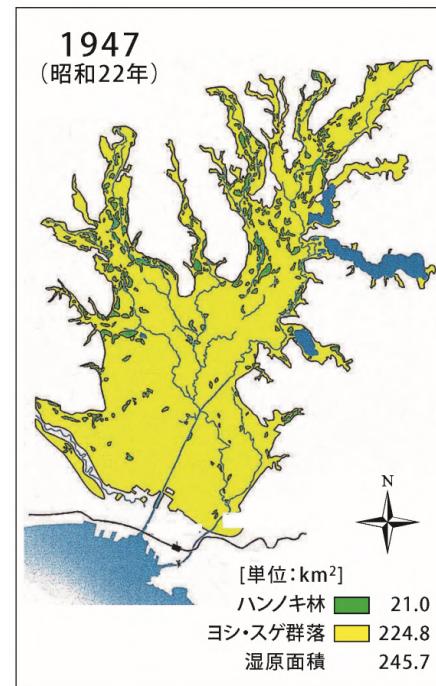
70年で約30%減少！

A decrease of about 30% every 70 years  
70年約30%減少  
70년에 약 30%감소

かなり小さく  
なったなあ



ヤチボウズ



# 湿原が乾燥して自然が変化

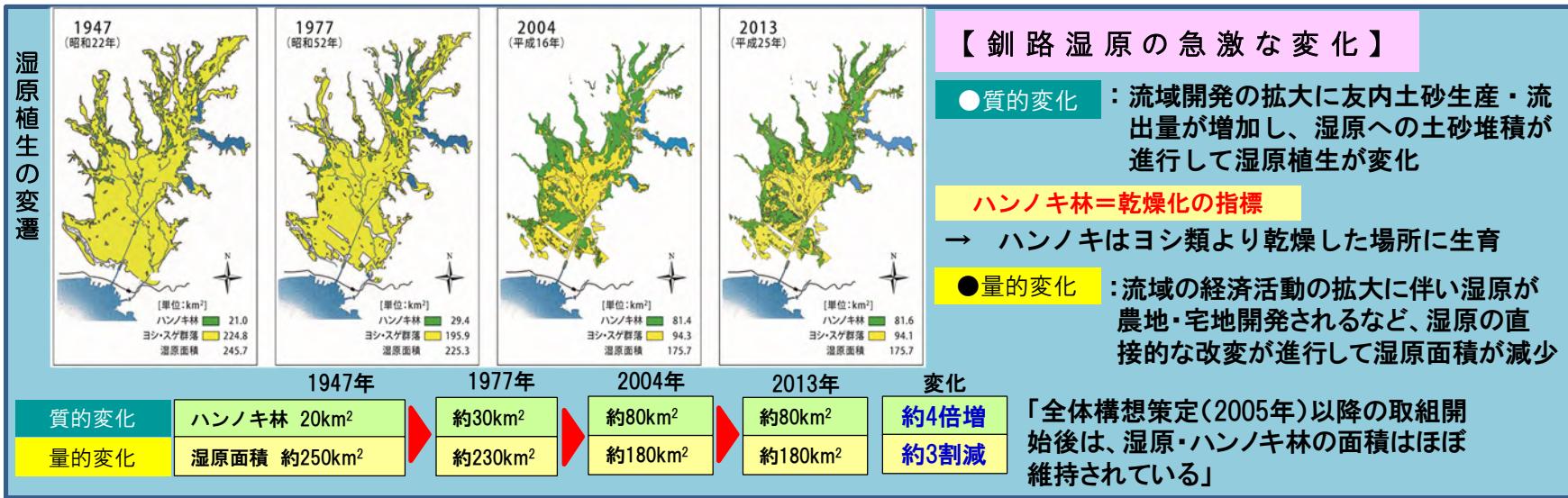
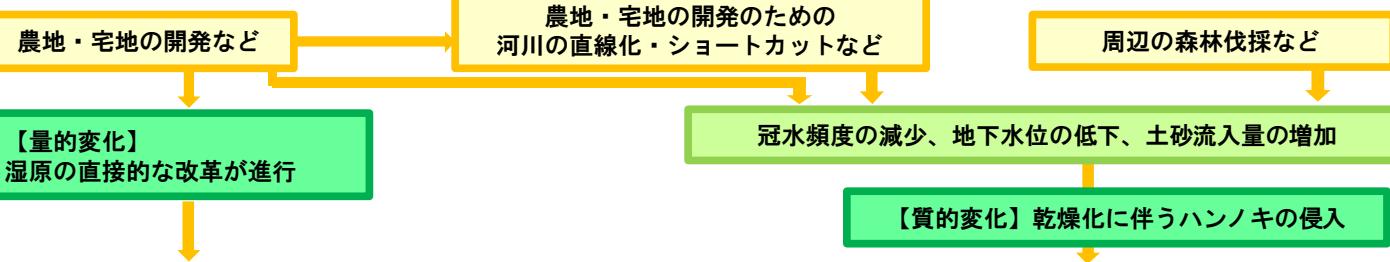
ハン／キ林の増加

ヨシ群落

# 釧路湿原の急激な変化の原因

流域の経済活動の拡大(農地・宅地の開発、河川の直線化、湿原周辺の森林伐採など)が原因

原因



タンチョウ・キタサンショウウオ等の生息環境の悪化

- タンチョウ: 湿原内での樹林地の拡大により逃避行動が阻害されるなど危険が増大
- キタサンショウウオ: 水環境の悪化等による生息・繁殖環境の悪化

湿原としての風景・景観の悪化



本来の湿原には見られない直線河道

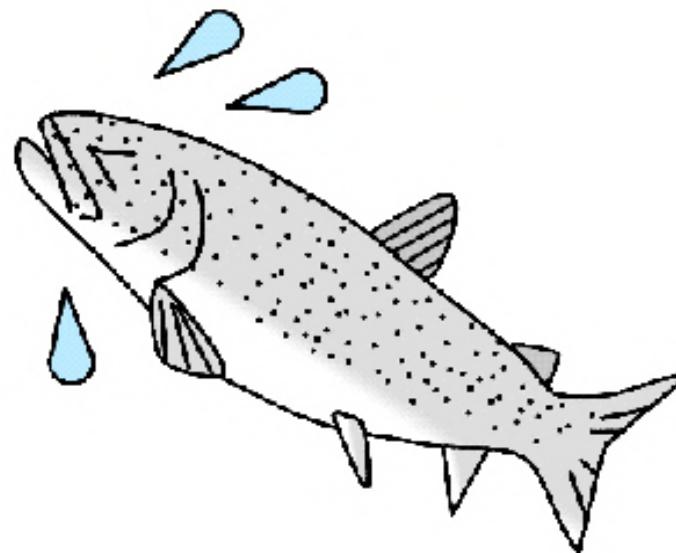
ハンノキに覆われた本来と異なる景観

希少な野生生物などの減少

イトウの釣り捕獲個体数の減少

# 希少な野生生物への影響

- ・日本最大の淡水魚イトウ
- ・北海道だけに天然のものが生息する「幻の魚」で、つり人の憧れ
- ・釧路湿原では絶滅寸前



# 自然再生がはじまる - 1980年以前の環境へ

To environment of before 1980 when natural reproduction begins

到自然再生开始的 1980年以前的环境

자연 재생이 시작하는 1980년 이전의 환경에



# 釧路湿原における自然再生の主な取り組み

- 湿原へ流入する土砂や栄養塩などの負荷を軽減するとともに、湿原や湿原とつながりをもつ河川・森林などの生物生息生育環境を保全・再生するなどし、釧路湿原の自然再生を図る。
- 行政、NPO、地域住民が連携し、自然再生事業実施計画を策定し10事業が実施中。



# 茅沼地区で蛇行河川を復元しました

The mosquito net bog district old river restoration was done.

茅沼地区旧河恢复完成了

茅沼지역의 오래된 강복원을 실시했습니다

復元前

Before restoration

在恢复之前  
복구 전



旧川の底に溜まった泥などを取り除くために、旧川の水抜きを行います



旧川の水抜き



魚類



植物



## ★工事実施にあたっての配慮事項

旧川に生息する魚や植物を、保護しながら工事を進めます

魚類の捕獲



捕獲魚の放流



移植株の採取



移植



掘削完了後の河道状況



沈木を一度よけ、土砂を掘削した後、また沈木を元に戻しました。

(沈木は、魚の隠れ場所になります)

復元後

After recovery

復元後  
회복 후



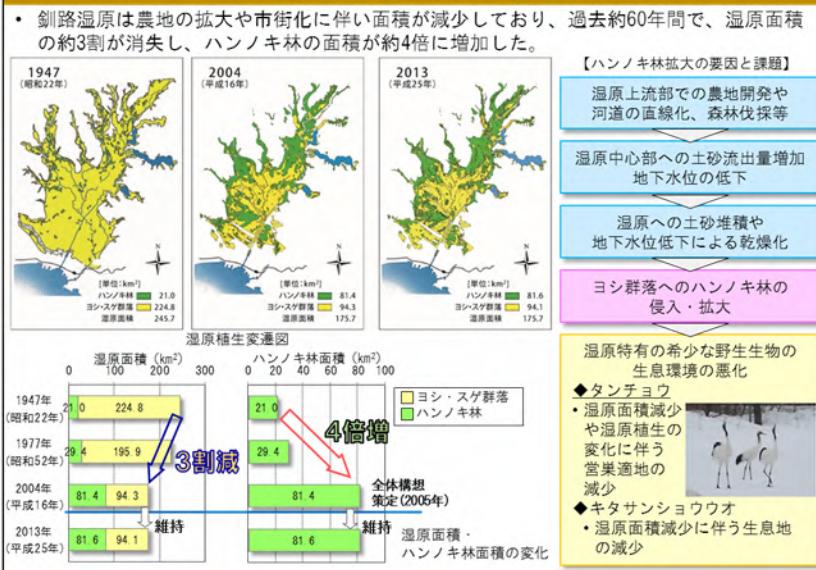
釧路川（茅沼地区）の旧川復元は、平成18年度に工事に着手し、平成22年度に完了しました。

# 茅沼地区旧川復元事業の概要

## ①事業対象区域

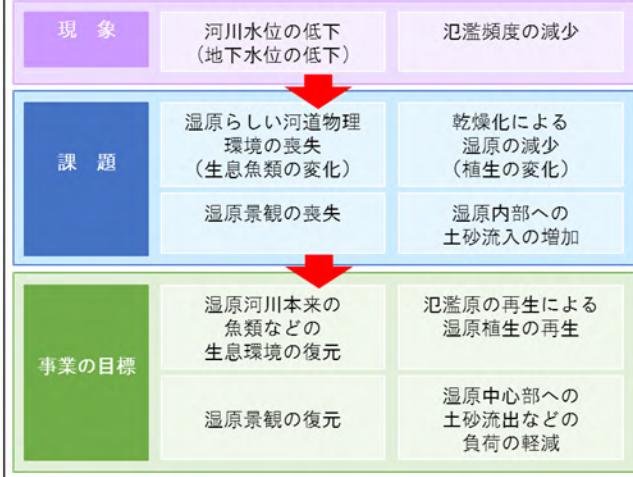


## ②釧路湿原の現状と課題



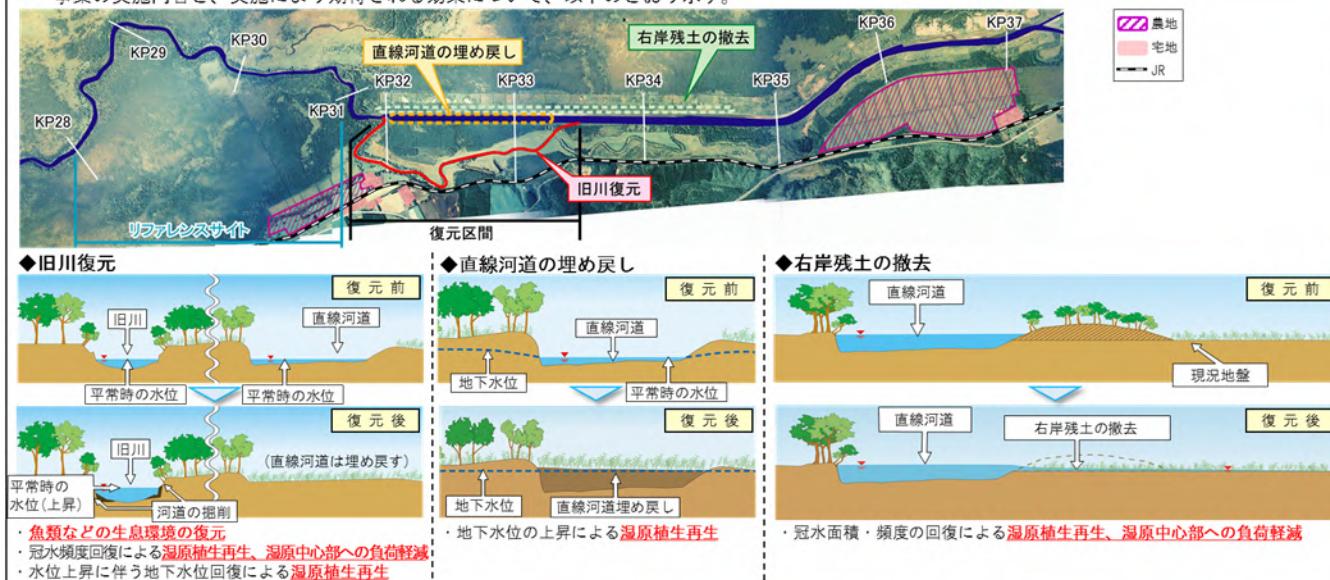
## ③茅沼地区的課題と事業の目標

- 地域の開発と発展要請と相まって、釧路川茅沼地区においても1980年に河道が直線化され、旧川周辺は乾燥化の進捗に伴い、牧草地として土地利用されてきた。その結果、下図の現象や課題を生じた。



## ④事業の実施内容と期待される効果

- 事業の実施内容と、実施により期待される効果について、以下のとおり示す。



## ⑥事業のスケジュール

- 茅沼地区旧川復元事業のスケジュールについて示す。

年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	...	H29年度	H30年度	H31年度	...
年	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	...	2017	2018	2019	...
○実施計画策定 (H18.8)												
●旧川通水 (H22.2)												
工事実施												
工事完了 (H23.3)												
モニタリング調査 効果の評価												

## ⑦現在までの評価

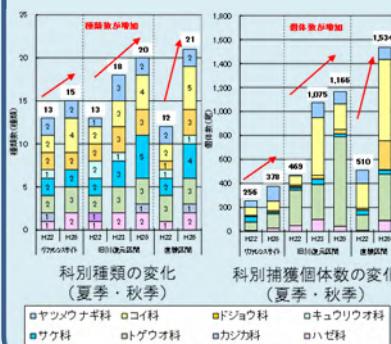
- 事業の効果について2017年度時点の評価は以下のとおり。

目標	目標達成の評価	評価
魚類などの生息環境の復元	目標達成	・魚類が生息する場が多様になり、生息環境に応じた魚種が生息するようになった。
温原植生の再生	温原植生は変化途中	・地下水位上昇、冠水頻度増加が確認され、温原植生面積は、事業実施前から約30ha回復した。
温原景観の復元	概ね達成	・旧川復元区間中・下流部はリファレンスに近い景観となった。 ・上流側は、直線河道に近い景観となっていいる。
温原中心部への負荷の軽減	達成	・実施計画で設定した軽減効果3割と比較すると、十分に効果を発揮している。

# 茅沼地区で蛇行河川を復元した効果

茅沼で行った蛇行河川の復元（直線にした川を元々の蛇行した川に戻す）により、以下のような効果が確認されました。  
(H29までの調査結果による)

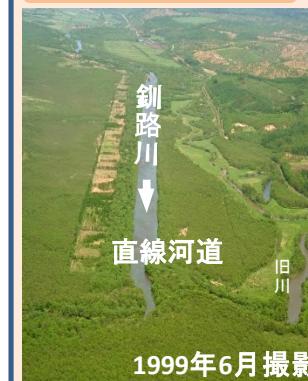
【魚類】魚の種類や数が増えました



【植生】湿原の植生面積が増えました



復元前



1999年6月撮影

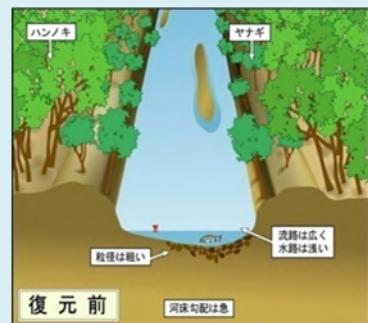
復元後



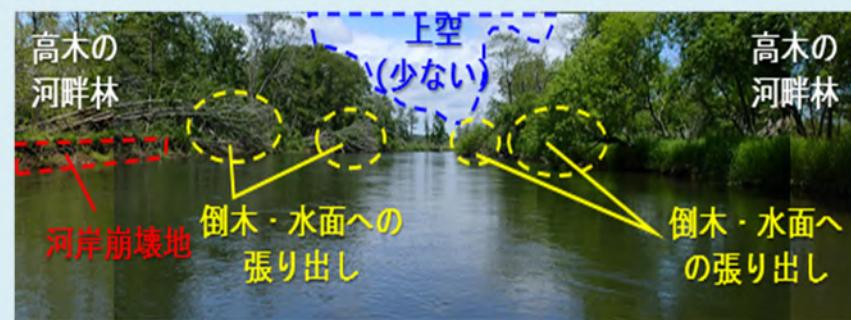
2012年9月撮影

復元前と復元後の  
釧路川の様子

【湿原の景観】目標とする景観に近づいてきました



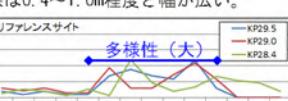
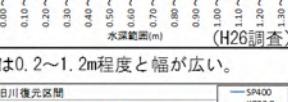
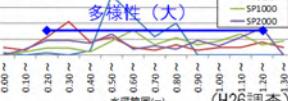
目標とする景観



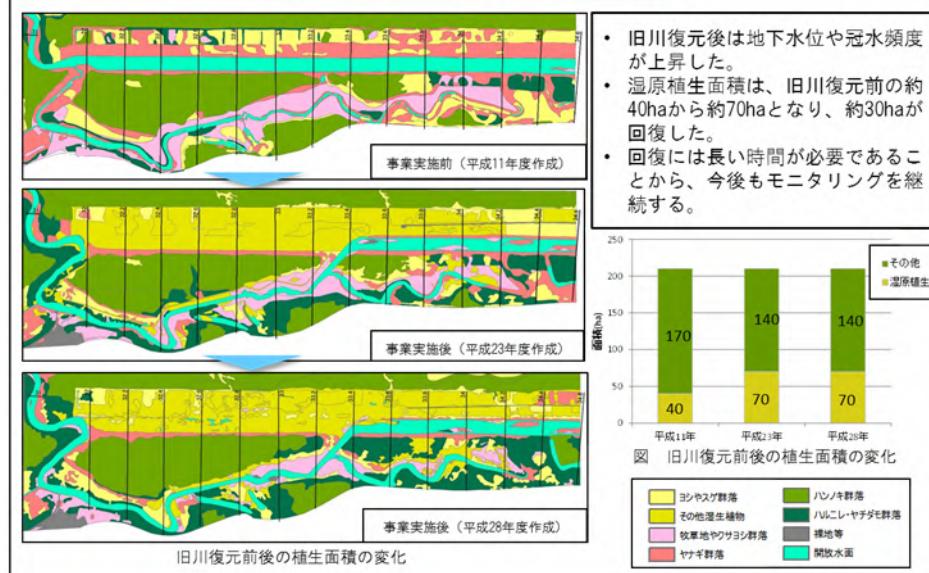
復元後の景観

### 平成29年までに確認された事業効果

## ①湿原河川本来の魚類などの生息環境の復元

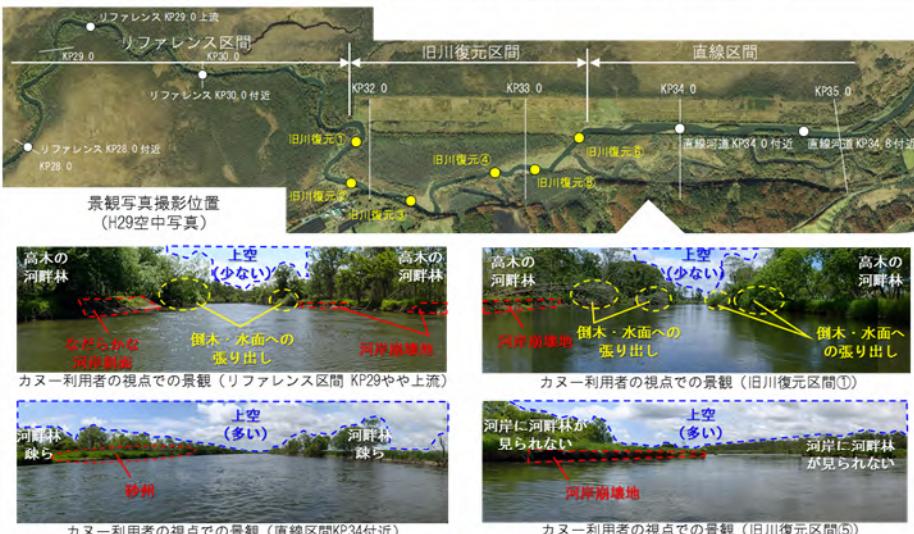
水深の分布範囲	
リファレンスサイト	<p>水深は0.4~1.0m程度と幅が広い。</p> 
旧川復元区間	<p>水深は0.2~1.2m程度と幅が広い。</p> 
直線区間	<p>水深は0.1~0.4m程度と浅く水深幅も狭い。</p> 

## ②氾濫原の再生による湿原植生の再生



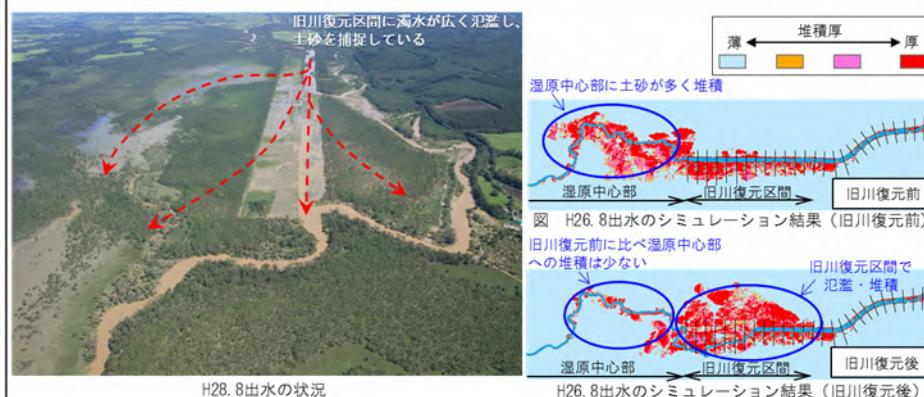
### ③湿原景観の復元

- ・旧川復元区間①～④は、景観を構成する主な要素となる「上空・河畔林・裸地、水面」の割合がリフレンス区間と近いことから、リフレンス区間に類似した景観が復元している。
  - ・旧川復元区間上流部の⑤・⑥は、それぞれの要素の割合が直線河道に近く、現段階で目標達成に至っていない。景観復元には今後の河畔林回復が必要であり、モニタリングを継続する。



#### ④湿原中心部への土砂流出などの負荷軽減

- ・事業実施により出水時に濁水が広範囲に氾濫し、温原中心部に流入する土砂量を軽減している。
  - ・シミュレーションにより旧川復元前後における温原中心部土砂流入量の軽減効果を算定した結果、目標とした3割軽減を達成する効果を確認した。



# 茅沼自然観察路が完成しました

場所: 標茶町字コッタロ原野



自然再生事業(茅沼地区旧川復元)が身近に見られます。  
釧路湿原と釧路川を身近に散策できます。



# ～釧路湿原を守るために市民の取り組み～



茅沼地区旧川復元事業の一環の  
ヨシの移植作業



河川敷での清掃活動



釧路川の水生生物調査  
・水質調査



植樹の様子



釧路湿原自然再生事業の  
現場見学の様子



## すばらしい湿原のために ほっかいどう しべちゃこうとうがっこう 北海道標茶高等学校

標茶高校では、2002年から釧路湿原再生プロジェクトに取組んでいます。

学内にはミニ河川が作られ、そこで湿原の植物を活用して水質浄化実験を行っています。



茅沼地区旧川復元事業の一環の  
ネムロコウホネ(水生植物)移植作業



水質浄化実験の様子



# アメリカで進む自然再生の取り組み



キシミー川(フロリダ州)

# デンマーク ヨーロッパ最大規模の自然再生



・デンマーク スキャーン川  
・湿地の復元(2,200ha)



# 湿原とその周辺には野生の生き物がいっぱい



# 钏路湿原ならではの生き物 -キタサンショウウオ-

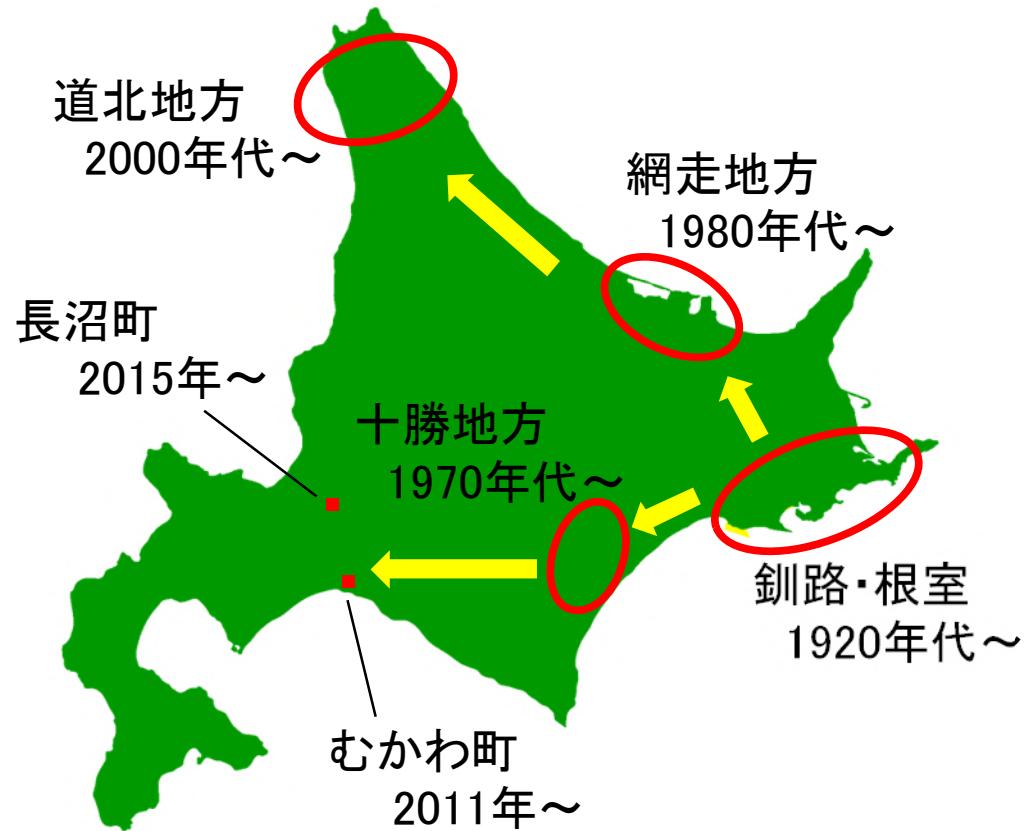


- ・体長 約11cm
  - ・夜行性の両生類
  - ・後足の指が4本
  - ・背中に黄色の太い2本の縦縞



- ・大部分が釧路湿原で生息
  - ・170～190万年前には大陸から北海道へ渡ってきたという説が有力である
  - ・1954年(昭和29年)釧路市北斗で発見
  - ・1975年(昭和50年)釧路市の天然記念物に指定
  - ・1992年(平成4年)標茶町の天然記念物に指定

# 釧路湿原を代表する生き物－タンチョウ－



- ・釧路湿原を中心に約1,800羽\*
- ・1年を通し、湿原で生活
- ・夏場は湿原で子育て

\* タンチョウ保護研究グループ会報  
2024調査結果より

タンチョウの生息地の推移  
『日本野鳥の会のとつておきの野鳥の授業』より

# 釧路湿原ならではの生き物－オジロワシ－



- ・北海道に約170つがいが繁殖<sup>\*1</sup>
- ・繁殖つがい数は、近年増加傾向
- ・主に魚や水鳥を食べる
- ・水辺近くの大木に巣作り
- ・北日本で約700～1000羽が越冬<sup>\*2</sup>



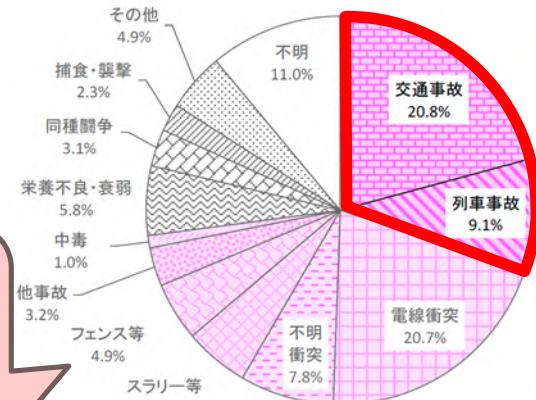
\*1 環境省(2010)

\*2 オジロワシ・オオワシ合同調査グループおよび環境省(2010～2020)

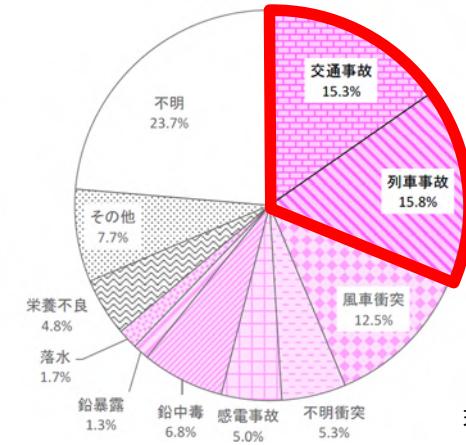
# タンチョウ・オジロワシ保全のための取り組み

- ・車や列車との衝突事故が問題に

負傷や病気で収容された  
タンチョウ・オジロワシ  
のうち30%は事故が原因



### タンチョウ収容原因別割合（平成 12-令和 4 年度）

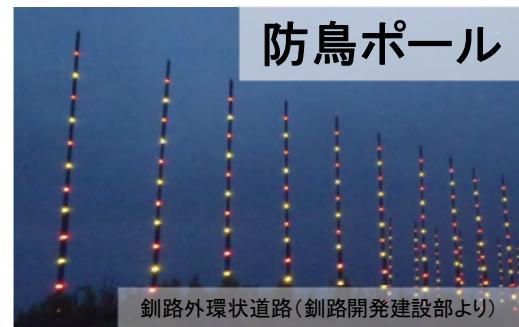


環境省HPより

## 衝突事故への対策

例:釧路外環状道路、  
釧路新道、JR北海道

- ・橋に防鳥ポール、防鳥ワイヤーを設置  
→川に飛來したタンチョウやワシが橋の上を  
低く飛んだり、橋にとまるのを防ぐ
  - ・シカ等の轢死体を早期に撤去、またはシートで覆う  
→食べに来たワシとの事故(二次被害)を防ぐ



釧路外環状道路(釧路開発建設部より)



釧路外環状道路(釧路開発建設部より)

# 釧路湿原のいきもののシリーズ

## キタサンショウウオ



- ・国内では大部分が釧路湿原で生息
- ・2017年に上士幌町において卵のうを発見
- ・釧路市と標茶町の天然記念物に指定
- ・170~190万年前には大陸から北海道へ渡ってきたという説が有力

- ・キタサンショウウオは4月から5月にかけ産卵
- ・産み落とされた直後の卵は美しい青色をしているため「湿原のサファイア」と呼ばれる

# 釧路湿原のいきもののシリーズ

## オオワシ

- 羽を広げると2.5mほどの大きさ
- 体の白と黒のパターンが遠くからでも目立ち、また、大きく鋭いくちばしも特徴的
- 釧路湿原では11月～翌4月ごろまで見ることができる
- 絶滅危惧II類に指定



## オジロワシ

- 羽を広げると2m前後の大さ
- オオワシよりもやや小さく、体色も褐色となる
- 真っ白な尾が特徴的
- 釧路湿原では一年中見ることができる
- 絶滅危惧II類に指定

# 釧路湿原のいきもののシリーズ



## オオジシギ

- 大きさは30cmほどの渡り鳥
- オーストラリアより5月頃から渡来し、7月まで見ることができる
- 初夏の騒々しい鳴き声と羽音は非常に特徴的
- 2016年の研究結果により、約6000kmをハンストップで飛ぶことが分かった

## シマエナガ

- 大きさは14cmほど
- 本州に住むエナガの仲間であり、体が白っぽいのが特徴
- 冬の姿が有名だが、夏は羽の色が少し変わり、体も幾分スマートになる
- 林で一年中見ることができる



# 釧路湿原のいきもののシリーズ

## ヤチボウズ(谷地坊主)



釧路湿原では、こんもりとした坊主頭のような草のかたまりが並ぶ不思議な風景が見られます。

### <谷地坊主の由来>

- ・ 谷地は湿原のこと
- ・ お坊さんの頭に似ていること

2つを合わせて谷地坊主

# 釧路湿原の花

8月~9月



タチギボウシ



エゾノコギリソウ



ツリガネニンジン



エゾノレンリソウ



ハンゴンソウ



エゾリンドウ



トモエソウ



ナガボノワレモコウ



サワギキョウ



ドクゼリ



ミヤマアキノキリンソウ

# 釧路湿原の風景～初夏



# 氷河期からのこる湿原の植物



## ミツガシワ

- 5月～7月にかけて咲く。温根内木道でも観察できる
- 花は白いがツボミは薄いピンク
- 浅い池や沼などの水辺に生える



## クシロハナシノフ

- 淡い青色の花をつける
- 6月～7月にかけて咲く
- 釧路湿原では限られたところだけで見られる



## ハナタネツケバナ

- 花の時期は6月中旬～8月
- 淡く赤紫がかった色のものもある
- 釧路湿原では限られた場所に咲くが、温根内木道で見ることができる